

<b>講義名</b>	教養特講 (都市・地域計画へのいざない)			
<b>担当教員</b>	植松 宏之			
<b>開講期・曜日・時限</b>	後期 月曜日 4時限	<b>授業形態</b>	講義	
<b>履修開始年次</b>	1年生	<b>単位数</b>	2	<b>備考</b>

**主題と概要**

2年生の専門科目である「都市・地域計画」では、都市計画法の法制度をベースに都市のマスタプランなどの基本的な考え方を学習することになるが、この授業では、地域のまちづくりが過去にどのような方向に導かれたか、将来どのような方向に導かれるかを学ぶ。地域まちづくりは、交通、防災、観光、教育、住まいなど幅広い社会経済活動により成り立っており、「都市・地域計画」の資格にあてはめながら講義を行う。特に受講生が理解をしやすい工夫として、国内外で都市開発事業が実施されている最新の事例を紹介しながら、専門知識の用語も解説し、地域まちづくりへの関心を深める授業とする。

**到達目標**

「都市・地域計画」の基本的な全体骨格を理解することができる  
 国内外で取り込まれている地域まちづくりの活動内容を理解することができる  
 大都市や地方都市における将来の地域まちづくりの方向性を理解することができる。

**提出課題**

授業で取上げた事例紹介に関して、それぞれの理解度確認のための確認テストを予定している。

**課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック**

授業の最後には、当日の振り返りを行うので、期中に実施される確認テストの準備として、授業に集中すること。

**評価の基準**

平常点40%(確認テスト2回)、定期試験60%

**履修にあたっての注意・助言他**

講義の前に資料を提供する。

<b>教科書</b>	.使用しない。				

**プリント資料及び参考文献**

講義の前に配布するプリント  
 参考WEB : 「全国エリアマネジメントネットワーク」 <https://areanagementnetwork.jp/>  
 参考WEB : 「国土交通省官民連携まちづくり」 [https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi\\_machi\\_tk\\_000047.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi_tk_000047.html)

**授業計画**

第1回 大都市の地域まちづくり 事例 首都圏・大丸有地区 テーマ「国際金融都市」  
 第2回 大都市の地域まちづくり 事例 首都圏・虎ノ門地区 テーマ「国際多機能都市」  
 第3回 大都市の地域まちづくり 事例 首都圏・渋谷地区 テーマ「クリエイティブ都市」  
 第4回 大都市の地域まちづくり 事例 中部圏・名古屋駅前地区 テーマ「リニア新幹線の期待」  
 第5回 大都市の地域まちづくり 事例 関西圏・福田地区 テーマ「イノベーション都市」  
 第6回 大都市の地域まちづくり 事例 北海道・札幌地区 テーマ「文化芸術都市」  
 第7回 大都市の地域まちづくり 事例 九州・博多天神地区 テーマ「アジア商業都市」  
 第8回 大都市の地域まちづくり(確認テスト)  
 第9回 地方都市の地域まちづくり 事例 北陸地方・富山市駅前 テーマ「コンパクトシティ」  
 第10回 地方都市の地域まちづくり 事例 北陸地方・福井市駅前 テーマ「北陸新幹線開通の期待」  
 第11回 地方都市の地域まちづくり 事例 中部地方・豊田駅前 テーマ「中心市街地の活性化」  
 第12回 地方都市の地域まちづくり 事例 中国地方・広島駅前 テーマ「広島の玄関口としての期待」  
 第13回 海外のまちづくり 事例 米国・ニューヨーク  
 第14回 海外のまちづくり 事例 オーストラリア・メルボルン  
 第15回 地方都市等の地域まちづくり(確認テスト)

**授業形態(アクティブ・ラーニング)**

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間**

毎回の講義内容への理解に応じて、WEBなどを活用して、地域の最新情報を毎週4時間程度の復習を行い、都市・地域計画の理解を深める。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

- 知識を知恵に転換することができる人材を育てる
- 官民(仲間)が協力して、社会の課題を成し遂げられる人材を育てる

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり。都市開発業務の実績を活用して、分かり易く都市・地方地域計画の基礎について解説をする。

**備考**

受講生のリクエスト等に応じて、授業計画は柔軟に変更することがありうる。  
 新型コロナウイルス感染症の状況によりシラバスの修正がありうる。